

人生の最期の過ごし方

人生最期の希望・終活・
リビングウイル・DNAR



人生の最期を考えるシンポジウム開催!!

誰もが避けられない「死」について、その大切な現実を、自分らしくどのように迎えたいか？一日一日を大切に、快適に、そして幸せに日々を過ごせるように、自身の人生の最期を考えるシンポジウムです。

日時：平成28年 2月27日（土）13:30～16:00

会場：長岡市中央生涯学習センター（バンビオ）

講師 柏木哲夫先生（淀川キリスト教病院 理事長）

共催：一般社団法人乙訓医師会
向日市・長岡市・大山崎町

人生最期の過ごし方

—人生最期の希望・終活・
リビングウィル・DNAR—
Symposium

ごあいさつ

「人生最期の過ごし方シンポジウム—人生最期の希望・終活・リビングウィル・DNAR—」を開催するにあたり、皆様ご存知の通り、“2025年問題”とも言われる“高齢多死時代”を我々は10年後に迎えようとしております。この現実を念頭に置き、医師はもとより一般市民の方々にとっても、“死”について語ることは決して避けられない大きな問題です。昔、“死”について医師が話すのはタブーと言う時代がありましたが、今後、在宅で高齢者を支える・看取ると言う命題は、好む好まざるにかかわらず、乙訓地域だけでなく、日本国民が共通して体現せねばならない必然と我々は考えております。

シンポジウムでは淀川キリスト教病院理事長の柏木哲夫先生を講師にお招きし、この誰もが避けられない現実を、自分らしくどのように迎えたいか？一日一日を大切に、快適に、そして幸せに過ごせるように、このシンポジウムが皆様ご自身の人生を考えるきっかけとなればと考えております。

また、乙訓医師会では、“私の医療に対する希望(終末期になった時)アンケート(国立長寿医療研究センター)”の『乙訓版』を1年かけて、医療・介護・福祉・行政職の皆さんと議論し作成しております。(シンポジウム当日に全員に配布させて頂く予定です。)ご自身の思いを記入し、かかりつけ医にお渡し頂ければ、大変貴重な診療情報となることでしょう。これら問題は地域包括ケアの“安心して最期を迎える社会の構築”の概念の一つでもあります。皆様のご指導・ご協力・ご支援を賜れば幸いです。

一般社団法人 乙訓医師会

人生の最期を考える
シンポジウム開催！



講師紹介

柏木 哲夫

略歴

淀川キリスト教病院理事長
淀川キリスト教病院名譽ホスピス長
大阪大学名譽教授
ホスピス財団理事長

1965年大阪大学医学部卒業。同大学精神神経科に3年間勤務し、主に心身医学の臨床と研究に従事。その後3年間、ワシントン大学に留学し、アメリカ精神医学の研修を積む。
1972年帰国し、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設。翌年日本で初めてのホスピスプログラムをスタート。その後、同病院にて内科医としての研修を受け、1984年にホスピス開設。副院長、ホスピス長を経て、1993年大阪大学人間科学部教授就任(人間行動学講座)。淀川キリスト教病院名譽ホスピス長。大阪大学定年退官後2004年4月より金城学院大学学長。2007年4月より金城学院大学院長を兼務。2013年9月より淀川キリスト教病院理事長。1994年日米医学功労賞、1998年朝日社会福祉賞、2004年保健文化賞受賞。

〈主な著書〉

心をいやす55のメッセージ(いのちのことば社)、癒しのユーモア(三輪書店)、ベッドサイドのユーモア学(メディカ出版)、定本ホスピス・緩和ケア(青海社)、いのちに寄り添う(KKベストセラーズ)、「死にざま」こそ人生(朝日新書)、いのちへのまなざし(いのちのことば社)など

【後援】

乙訓歯科医師会／乙訓薬剤師会／向日市北地域包括支援センター／向日市中地域包括支援センター／向日市南地域包括支援センター／長岡京市東地域包括支援センター／長岡京市南地域包括支援センター／長岡京市西地域包括支援センター／長岡京市北地域包括支援センター／乙訓地方民児協連絡協議会／向日市社会福祉協議会／長岡京市社会福祉協議会／大山崎町社会福祉協議会／大山崎町地域包括支援センター／乙訓介護支援専門員連絡会／乙訓訪問看護ステーション連絡会／京都地域包括ケア推進機構

●問い合わせ先

一般社団法人 乙訓医師会

長岡京市長法寺谷山13-1 長岡京市多世代交流ふれあいセンター 2階
TEL (075) 953-3914 FAX (075) 952-2343

【会場アクセス】



●JR東海道線「長岡京駅西口」から徒歩2分 ※駅からデッキで直通です

●阪急京都線「長岡天神駅」から徒歩15分

●京都市バス バス停「JR長岡京東口」から徒歩3分

●阪急バス バス停「JR長岡京」から徒歩1分